

1. 塩竈のあゆみ

1. 塩竈のあゆみ

1. 塩竈のあゆみ

西 暦	年 号	記 事
1873	明 治 6 年	宮城県が生まれる 塩竈小学校創立 塩釜郵便局開設
1874	明 治 7 年	鹽竈神社が国幣中社になり、志波彦神社が岩切から遷祀
1882	明 治 15 年	最初の築港開始（18年完成）
1883	明 治 16 年	蒲生～井戸浜間の堀割工事開始
1886	明 治 19 年	塩釜警察署開設
1887	明 治 20 年	塩竈に消防ができる 塩釜線の開通 電信の開通
1888	明 治 21 年	北浜の海面を埋め立て
1889	明 治 22 年	塩竈町制施行（人口4,228人、世帯数783）（2月9日）
1908	明 治 41 年	塩竈に電話が開通する
1909	明 治 42 年	鹽竈神社の太刀二振り（雲生・来国光）が国宝に指定される（現・重要文化財）
1910	明 治 43 年	塩釜港が第二種重要港湾の指定を受ける
1911	明 治 44 年	塩竈商業補習学校が開校
1912	明 治 45 年	上水道創設事業給水開始（事業費160千円）
1913	大 正 2 年	私立塩竈幼稚園開設
1915	大 正 4 年	築港工事開始
1917	大 正 6 年	塩竈町立図書館開設
1920	大 正 9 年	塩竈町教育会設置（第1回国勢調査人口 13,139人）
1922	大 正 11 年	塩竈町で初めて新聞が発行される
1924	大 正 13 年	塩釜郵便局が二等局になる 衛生組合設立
1925	大 正 14 年	宮城電鉄（現・JR仙石線）、仙台～塩竈間開通（国勢調査人口 16,871人） 塩竈第二尋常小学校開校
1927	昭 和 2 年	宮城電鉄、東塩釜～松島海岸間開通
1928	昭 和 3 年	宮城電鉄、石巻まで開通
1929	昭 和 4 年	塩釜実科高等女学校開校 塩竈町魚市場開設
1930	昭 和 5 年	塩竈水上警察設置（国勢調査人口 23,282人）
1931	昭 和 6 年	仙塩道路の舗装完成
1933	昭 和 8 年	臨港線開通、塩竈の築港が完成
1934	昭 和 9 年	横浜税関塩釜支署が設置される 塩釜青年学校開校
1935	昭 和 10 年	塩竈第三尋常小学校開校（国勢調査人口 29,364人）
1936	昭 和 11 年	専売公社塩釜出張所開設
1938	昭 和 13 年	多賀城村大字笠神字端島の全部、字一本松などの一部地域やセヶ浜村東宮浜字雀島一番地を塩竈町に編入
1941	昭 和 16 年	塩竈、市制施行（人口31,286人、世帯数5,717）（11月23日）

西 暦	年 号	記 事
		太平洋戦争始まる (12月8日)
1943	昭和 18 年	塩竈中学校開校 東北海運局が開設
1944	昭和 19 年	東北本線海岸線回り開通 塩竈市空襲 (12月29日)
1945	昭和 20 年	市立病院開設 第二次世界大戦終戦 (日本無条件降伏、8月15日)
1946	昭和 21 年	塩竈市公民館開設
1947	昭和 22 年	塩竈市立中学校開校 (6・3制) (国勢調査人口 42,430人) 塩釜公共職業安定所開設
1948	昭和 23 年	塩竈に海上保安部設置 塩竈児童相談所開設 第1回塩竈みなと祭開催
1949	昭和 24 年	塩竈電報電話局開設 塩竈に東北区水産研究所開設 多賀城村大字笠神字一本松、字芦畔、字大木戸などの地域を塩竈市に編入
1950	昭和 25 年	浦戸村が合併 (国勢調査人口 45,820人)
1951	昭和 26 年	塩竈市公民館新設 東部保育所完成
1952	昭和 27 年	塩竈市教育委員会開設
1953	昭和 28 年	塩竈市営アパート建設 東京検疫所塩竈出張所開設
1954	昭和 29 年	一万トン岸壁修築工事着工 無線技術補導所開設
1956	昭和 31 年	東北本線塩釜駅営業開始
1958	昭和 33 年	東北造船株式会社 (現・東北ドック鉄工株式会社) 発足 月見ヶ丘小学校開校
1959	昭和 34 年	貞山第一号埠頭 (一万トン) 完成
1960	昭和 35 年	市役所新庁舎落成 (国勢調査人口 55,325人) チリ地震津波発生 (5月24日)
1962	昭和 37 年	玉川中学校開校 一万トン埠頭上屋完成 大倉ダムから受水、梅の宮浄水場より配水 (第三次水道拡張工事完成)
1963	昭和 38 年	し尿処理場完成
1964	昭和 39 年	新産業都市建設地域指定 西塩釜駅改築
1965	昭和 40 年	新浜町に魚市場新築移転 (国勢調査人口 58,363人) 鹽竈神社博物館開館
1966	昭和 41 年	ゴミ焼却場落成 浦戸簡易水道完成
1968	昭和 43 年	塩釜港湾合同庁舎完成 潮見橋開通
1969	昭和 44 年	水産加工団地建設 貞山大橋完成
1970	昭和 45 年	塩釜地区消防事務組合発足 (国勢調査人口 58,772人) 市立男女高校、県に移管
1971	昭和 46 年	塩釜地区消防事務組合庁舎完成 新浜町公園完成
1972	昭和 47 年	市民センター、老人福祉センター、勤労青少年ホーム、新浜町保育所完成
1973	昭和 48 年	市立病院改築 東部保育所移転

西 暦	年 号	記 事
1974	昭 和 49 年	第二中学校新築移転 市の花（白菊）、市の木（塩竈桜）を制定（塩竈市告示第27号）
1975	昭 和 50 年	藤倉児童館、香津町保育所完成（国勢調査人口 59,235人）
1976	昭 和 51 年	新公民館、清掃工場、寒風沢保育所完成 市営清水沢住宅完成
1977	昭 和 52 年	杉の入小学校開校 清水沢保育所完成 玉川小学校開校
1978	昭 和 53 年	玉川中学校新築移転 宮城県沖地震（6月12日） 公共駐車場落成 人口6万人を越す
1979	昭 和 54 年	台風20号（10月20日）、大雨洪水災害
1980	昭 和 55 年	魚市場開設50周年（国勢調査人口 61,040人） 北部横断道路（国道45号線新浜町～県道塩釜吉岡線栄町間）3.8km完成
1981	昭 和 56 年	仙石線高架複線化事業完成（11月1日開通） 塩釜地区休日急患診療センター開設
1982	昭 和 57 年	浦戸諸島開発総合センター、浦戸診療所落成 魚市場水揚高500億円を越す
1983	昭 和 58 年	清水沢公園グラウンド、塩竈港緑地「みなと公園」完成 障害者福祉都市に指定される
1984	昭 和 59 年	都市計画道路北浜沢乙線（北日本銀行塩釜支店～太田屋前）194m開通 塩竈市保健センター完成 市立病院外来診療棟改築
1985	昭 和 60 年	ソ連漁船の寄港地に指定される（国勢調査人口 61,825人） 都市計画道路東塩釜吉津線（藤倉～国道45号線）112m開通 塩釜陸橋改良工事完了 玉川中学校の校庭にナイター施設完成
1986	昭 和 61 年	国際観光モデル地区に指定される 台風10号（8月5日）、大雨洪水災害 塩竈市体育館落成
1987	昭 和 62 年	特別養護老人ホーム「清楽苑」開設 東北造船株式会社解散、新たに東北ドック鉄工株式会社発足 塩釜地区が新郵便モデル都市（郵トピア）に指定される（2市1町） 鹽竈神社の「塩竈桜」が国の天然記念物に指定される
1988	昭 和 63 年	ソ連漁船の寄港地に2度目の指定 浦戸中学校の改築 市内循環バスの運行開始 「第3次新長期総合計画」（～平成12年、都市像…国際海洋文化都市）がスタート
1989	平 成 元 年	「お木曳」行事が初めて行われる 塩竈みなと祭に「よしこの塩竈」が新登場

西 暦	年 号	記 事
1990	平成 2 年	市営汽船、新造船「しおじ」就航 第一中学校の改築 インターハイが宮城県で開催される（塩竈ではバドミントンが行われる） 台風19号（9月20日）、10、11月に大雨洪水災害 再開発ビル「老番館」完成（国勢調査人口 62,025人）
1991	平成 3 年	塩竈市民交流センター（遊ホール、視聴覚センター、市民図書館）がオープン 市制施行50周年記念式典及び市民の集い開催 全国なぎさシンポジウム in みやぎ '91開催 伊保石公園一部供用開始
1992	平成 4 年	デイ・サービスセンター、在宅介護支援センターが開設 塩釜医師会医療社会活動センター（塩釜地区休日急患診療センターも移設）オープン ゴミの指定袋制度開始 総合治水対策開始 長寿祝金（100歳誕生日を迎えられた方）制度条例化
1993	平成 5 年	休日救急歯科診療が開始 塩竈斎場（火葬場）の改築 塩釜港旅客ターミナル建設に向け、塩釜港開発株式会社設立 浦田野々島に公衆トイレを設置
1994	平成 6 年	第三小学校屋内運動場改築 ゆとり創造宣言都市に指定される 全国小学生バドミントン選手権大会で個人女子ダブルス日本一に 高齢者福祉に向けたシルバーハウジング建設 雨水貯留浸透事業が全国に先立ち国のモデル事業に指定される 第1回宮城「館」懇談会「森と水と海のふれあいサミット」開催（2市6町1村）
1995	平成 7 年	吉津踏切「かっぱ橋」が完成（国勢調査人口 63,566人） 5月1日から字伊保石の一部（千賀の台）の住所が変更 塩釜港旅客ターミナル「マリゲート塩釜」の工事着工 市立病院開設50周年 「塩竈市都市マスタープラン」策定
1996	平成 8 年	市営汽船、新造船「みしお」就航 藤倉汚水ポンプ場完成 新旅客ターミナル「マリゲート塩釜」完成 室内温水プール完成（勤労者総合スポーツ施設） 全国小学生バドミントン選手権大会で団体日本一に 大日向市営シルバーハウジング住宅完成
1997	平成 9 年	塩釜地区環境組合設立 塩竈みなと祭50年

西 暦	年 号	記 事
1998	平成 10 年	インターネット公式ホームページ開設 在宅福祉対策事業が厚生大臣表彰を受ける 全国小学生バドミントン選手権大会で個人女子ダブルス日本一に 生涯学習センター「ふれあいエスプ塩竈」完成 「塩竈市情報公開条例」制定 「塩竈市個人情報保護条例」制定
1999	平成 11 年	塩釜地区環境センター（2市3町し尿処理センター）稼働 塩竈市防災無線全73局開局 全国小学生バドミントン選手権大会で5年生以下男子シングルス日本一に
2000	平成 12 年	全国門前町サミット2000 in 塩竈開催（国勢調査人口 61,547人） 全国小学生バドミントン選手権大会で6年生の部男子シングルス日本一に
2001	平成 13 年	市制施行60周年 塩釜港が特定重要港湾に昇格 「第4次長期総合計画」（～平成22年）策定 第56回国民体育大会（塩竈ではバドミントンが行われる） 塩竈－ブルターニュ・芸術交流プロジェクト開催 新浜りサイクルセンター完成、「しおりふれあいトンネル」開通
2002	平成 14 年	畑中みゆき選手 ソルトレークシティー冬季五輪出場（スキー・フリースタイル） 「塩竈市環境基本計画」策定 鹽竈神社が国の重要文化財に指定
2003	平成 15 年	「しおがま男女平等・共同参画基本計画」策定 「塩竈市市民活動促進指針」策定
2004	平成 16 年	「塩竈ヴェネツィア計画」とりまとめ 「塩竈市地域新エネルギービジョン」策定 「海辺の賑わい地区」土地区画整理事業スタート
2005	平成 17 年	ファミリーサポートセンター開設（国勢調査人口 59,357人） 第1回住民満足度調査実施 「健康しおがま21プラン」策定
2006	平成 18 年	畑中みゆき選手 トリノ冬季五輪出場（スキー・フリースタイル） 亀井文蔵氏に名誉市民の称号を贈呈、旧亀井邸活用開始 市営汽船、新造船「うらと」就航
2007	平成 19 年	「海辺の賑わい地区」まちびらき 「三陸塩竈ひがしもの」商標登録 「塩竈市しおがま男女共同参画推進条例」制定 「エコdeスマイルコンテストinみやぎ」で塩釜市団地水産加工業協同組合のBDF事業が知事賞（最優秀賞）を受賞
2008	平成 20 年	「しおがま文化大使」任命、塩竈市ロゴマーク決定 仙台・宮城デスティネーションキャンペーン実施

西 暦	年 号	記 事
2009	平成 21 年	NEWしおナビ100円バス試験運行開始 第1回塩竈フォトフェスティバル開催 京都市下京区と交流 藤倉雨水ポンプ場完成 塩釜市団地水産加工業協同組合のバイオディーゼル精製プラントが「新エネ百選」に選定 魚市場開設80周年
2010	平成 22 年	NEWしおナビ100円バス本格運行開始 (国勢調査人口 56,490人) チリ中部沿岸地震浅海漁業被害 (2月28日) 「海辺の賑わい地区」アクアゲート口駅前広場完成 市立病院が地方公営企業法の全部適用に移行 「しおがま文化大使」新たに1名任命、「しおがま産業大使」任命
2011	平成 23 年	東日本大震災 (3月11日) 「第5次長期総合計画」(～平成32年、都市像…おいしさと笑顔がつどうみなとまち 塩竈)がスタート 台風15号 (9月21日)、大雨洪水災害 市制施行70周年、「震災復興計画」策定
2012	平成 24 年	東日本大震災塩竈市追悼式 震災復興推進局新設 防災行政無線全73局デジタル化 地域優良賃貸住宅運営開始 水道事業100周年 「GAMA ROCK FES 2012」開催
2013	平成 25 年	藤倉児童館リニューアルオープン 東日本大震災塩竈市追悼式 塩竈市東日本大震災モニュメント除幕式 4部13課の行政機能を壱番館へ集約 仙台・宮城デスティネーションキャンペーン実施
2014	平成 26 年	青山学院大学と包括連携協定を締結 伊保石地区災害公営住宅入居開始 東日本大震災塩竈市追悼式 牛生雨水ポンプ場完成 市営汽船70周年記念「ゆるキャラ丸」就航 塩竈市景観計画策定、塩竈市杉村惇美術館開館 塩竈みなと祭がふるさとイベント大賞「内閣総理大臣賞」受賞 浦戸寒風沢で潮流発電による電力供給実験開始 (日本初)
2015	平成 27 年	東日本大震災塩竈市追悼式 第1回みなと塩竈ゆめ博開催 (国勢調査人口 54,187人) 災害公営住宅完成 (錦町1号棟、桂島、野々島、寒風沢・朴島)

西 暦	年 号	記 事
2016	平 成 28 年	新のびのび塩竈っ子プラン策定、第2次塩竈市環境基本計画策定 塩竈市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画策定
		東日本大震災塩竈市追悼式 カフェはれま・塩竈まちかど博物館（旧ゑびや旅館）オープン 大元英照選手 リオデジャネイロ夏季五輪出場（ボート・軽量級ダブルスカル） 清水沢地区災害公営住宅全棟完成 新魚市場中央棟・南棟（一部）供用開始 舟入地区の津波避難経路が完成
2017	平 成 29 年	東日本大震災塩竈市追悼式 錦町東地区・北浜地区公営住宅が完成し、災害公営住宅がすべて完成 小中一貫教育の本格実施 「塩竈市都市マスタープラン」改定 南東北インターハイ&みやぎ総文祭2017開催 (株)七十七銀行と包括連携協定を締結 寒風沢地区雨水ポンプ場完成 越の浦雨水ポンプ場完成
		東日本大震災塩竈市追悼式 塩竈市魚市場「おさかなミュージアム」オープン 塩竈市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画策定 第3期塩竈市障がい者プラン策定 市営汽船、新造船「しおね」就航 みやぎ生活協同組合と包括連携協定を締結 塩竈市津波防災センターオープン
2018	平 成 30 年	東日本大震災塩竈市追悼式 塩竈市魚市場「おさかなミュージアム」オープン 塩竈市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画策定 第3期塩竈市障がい者プラン策定 市営汽船、新造船「しおね」就航 みやぎ生活協同組合と包括連携協定を締結 塩竈市津波防災センターオープン
		地域通貨「竈コイン」実証実験開始 東日本大震災塩竈市追悼式 「塩竈市公共施設再配置計画」策定
2019	平 成 31 年	「みなと塩竈海保カレー」提供開始 台風19号（10月12日） 大雨洪水被害 東北福祉大学と包括連携協定を締結
		塩竈市杉村惇美術館が「地域創造大賞（総務大臣賞）」を受賞 宮城県海上保安部と包括連携協定を締結 塩竈市中央公共駐車場竣工 日本郵便(株)と包括連携協定を締結 (株)仙台89ERSと包括連携協定を締結 うみまち保育所開所 ヤマト運輸(株)と包括連携協定を締結
2020	令 和 元 年	塩竈市杉村惇美術館が「地域創造大賞（総務大臣賞）」を受賞 宮城県海上保安部と包括連携協定を締結 塩竈市中央公共駐車場竣工 日本郵便(株)と包括連携協定を締結 (株)仙台89ERSと包括連携協定を締結 うみまち保育所開所 ヤマト運輸(株)と包括連携協定を締結
		福島県沖を震源とする地震（2月13日、震度5強） 子育て世代包括支援センター「にこサポ」開設
2021	令 和 3 年	福島県沖を震源とする地震（2月13日、震度5強） 子育て世代包括支援センター「にこサポ」開設

西 暦	年 号	記 事
2022	令 和 4 年	大塚製菓(株)と包括連携協定を締結 市制施行80周年記念式典、塩竈シティプロモーションロゴマーク決定 明治安田生命保険相互会社と包括連携協定を締結 福島県沖を震源とする地震(3月16日、震度5強) 学校法人朴沢学園と包括連携協定を締結 「第6次長期総合計画」(～令和13年度、都市像…海と社に育まれる楽しい塩竈)がスタート 新婚さんいらっしやい事業、“こんにちは赤ちゃん”誕生祝金贈呈事業を開始 株式会社マイナビフットボールクラブと包括連携協定を締結
2023	令 和 5 年	社の都信用金庫と包括連携協定を締結 株式会社ベガルタ仙台と包括連携協定を締結 株式会社楽天野球団と包括連携協定を締結 塩竈市中学生国際交流研修事業の研修地を韓国として実施
2024	令 和 6 年	こども家庭センター開設 株式会社アイエンターと包括連携協定を締結 株式会社シンシアージュと包括連携協定を締結
2025	令 和 7 年	日本生命保険相互会社と包括連携協定を締結 株式会社Bloom Actと包括連携協定を締結 学校法人誠真学園宮城誠真短期大学と包括連携協定を締結 学校法人北杜学園と包括連携協定を締結 宮城県塩釜高等学校と包括連携協定を締結 一般社団法人全国古民家再生協会及び一般社団法人全国空き家アドバイザー協議会 宮城県塩竈支部と包括連携協定を締結 フォレストアドベンチャー・塩竈 伊保石公園ちびっこ広場オープン 塩竈市公式tiktokアカウント「トコトコしおがま」開設

